

**製品名: UCP2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19596**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用****希釈倍率** WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	UCP2
別名	UCP2; SLC25A8; Mitochondrial uncoupling protein 2; UCP 2; Solute carrier family 25 member 8; UCPH
遺伝子 ID	7351.0
SwissProt ID	P55851
免疫原	抗血清はヒト UCP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 64-113

**背景**

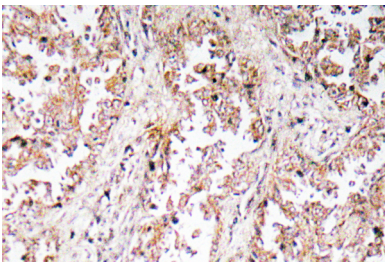
ミトコンドリア脱共役タンパク質 (UCP) は、ミトコンドリア陰イオン輸送タンパク質 (MACP) ファミリーのメンバーです。UCP

は、ミトコンドリア陽子漏出とも呼ばれる熱としてエネルギーを消費することで、酸化的リン酸化と ATP 合成を分離します。UCP は、ミトコンドリア内膜から外膜への陰イオンの移動と、外膜から内膜への陽子の移動を促進します。また、哺乳類細胞におけるミトコンドリア膜電位を低下させます。UCP の種類によって組織特異性があり、UCP が H<sup>+</sup>/OH<sup>-</sup> を輸送する正確な方法は分かっていません。UCP は、MACP の相同タンパク質ドメインを 3 つ含んでいます。この遺伝子は多くの組織で発現しており、骨格筋で最も多く発現しています。非ふるえ熱産生、肥満、糖尿病に関与していると考えられています。染色体順序は 5'-UCP3-UCP2-3' です。[provfunction:UCP はミトコンドリア輸送タンパク質であり、ミトコンドリア内膜を介したプロトンリークを引き起こし、酸化的リン酸化と ATP 合成の共役を解除します。その結果、エネルギーは熱の形で消散します。]多型:UCP2 の遺伝的変異は肥満感受性に影響します[MIM:607447]。BMIQ4 (Body mass index quantitative trait locus type 4) とも呼ばれます。肥満は西洋社会で最も一般的な栄養障害です。類似性:ミトコンドリア輸送体ファミリーに属します。類似性:3 つの Solcar リピートを含みます。サブユニット:プロトンチャンネルを形成する二量体として機能します。組織特異性:マクロファージに富む組織を含む成人の組織で広く発現しています。白色脂肪組織と骨格筋に最も多く発現しています。

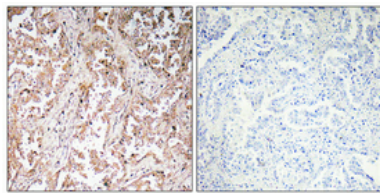
## 研究分野

がん; がん代謝; 代謝シグナル伝達経路; エネルギー代謝の統合; 代謝; 経路とプロセス; エネルギー伝達経路; エネルギーの統合; 肥満

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌組織における UCP2 抗体の免疫組織化学分析。



パラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。